

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和5年 7月 5日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
京都府京都市右京区西京極豆田町19番地

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
株式会社 麗光 代表取締役 岩井 順一  
(代理人) メタコート工場長 東 俊之

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	株式会社 麗光 代表取締役 岩井 順一
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	京都府京都市右京区西京極豆田町19番地

1 事業者の概要

事業所の名称	株式会社 麗光 メタコート工場					
事業所の所在地	滋賀県栗東市高野544番地					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	8	2	5	※ 産業分類・細分類名称を記載 プラスチックフィルム加工業
事業の概要	プラスチックフィルムへの金属蒸着と、規格幅へのスリット作業及び品質検査。					
従業員の数	45	人	作業時間	24	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ		台	熱源設備		台
	コンプレッサ	5	台	空気調和設備	3	台
				照明設備		台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2021	年度	報告対象年度	2022	年度
	終了年度	2024	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

環境方針より

■基本理念

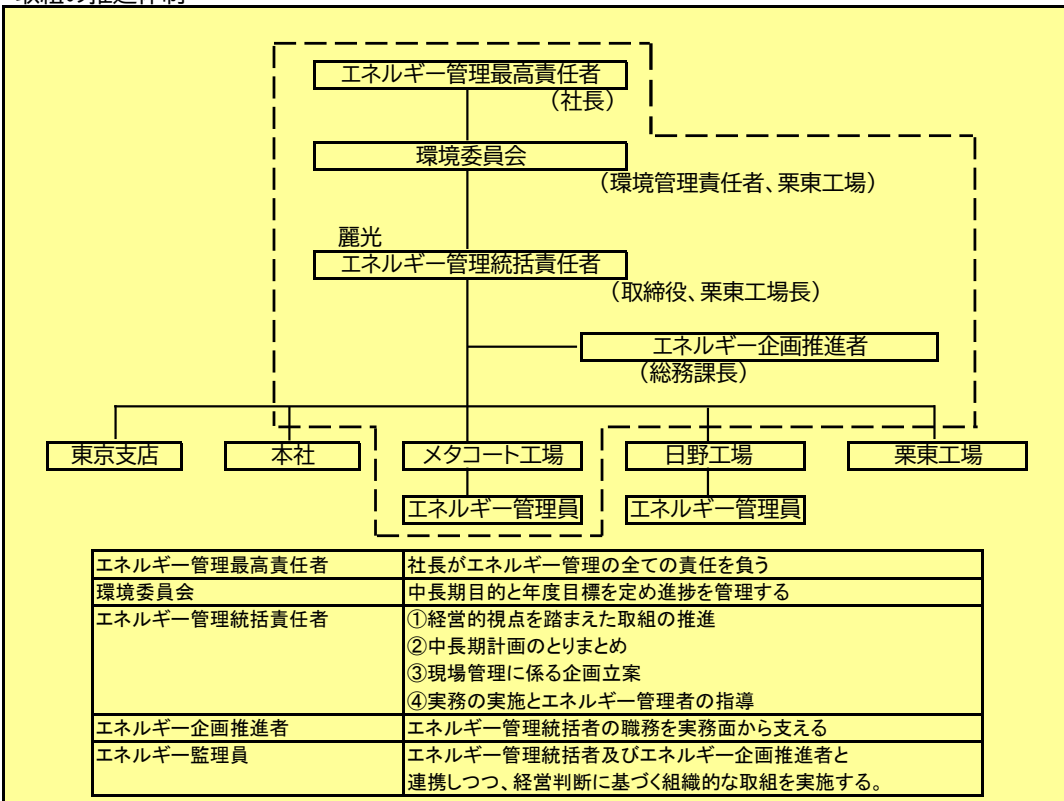
株式会社麗光は、「自然を思いやり豊かな心を育む」を経営理念の一つとして、「人に優しくクリーンな環境」を念頭に、企業活動のあらゆる面で地球環境保護に配慮して行動する。

■環境方針

株式会社麗光は、麗光グループ全員参加で環境保全に取り組み継続的改善を推進する。

- 2.環境負荷低減の為の技術革新を推進すると共に、環境への負荷が少なく安全に配慮した製品とサービスを提供する。
- 3.いつも現状の問題を認識し、技術的、経済性を考慮しながら目的及び目標を設定、見直しを行い継続的な改善を実施する。
- 4.エネルギーや資源を有効に活用し、廃棄物の削減と責任ある処理を行う。
- 5.環境教育による全従業員の意識高揚と関連する会社に協力を求め、広報活動を積極的に行なう。
- 6.環境方針は文書化し、必要に応じ一般に公開する。
- 2.環境に対する法律、規則及び受け入れを決めたその他の要求事項の遵守はもとより、環境汚染の予防に努める。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

- \*受電変圧器(並列運転中1台) 入力電圧タップ変更(入力電圧のロス改善、力率改善に) (平成23年5月変更)
- \*蒸着7号機 高性能高周波炉に更新 (平成25年11月に更新)
- \*受電変圧器(3台)、高効率変圧器(2台に統合)に更新 (平成25年11月に更新)
- \*工場屋根高反射塗料による省エネ (平成27年9月に実施)
- \*原反荷捌き作業場(2箇所)等の水銀灯をLED灯に更新 (平成28年4月に更新)
- \*STM(搬送車)省エネタイプに更新 (平成28年11月に更新)
- \*滋賀県産業支援プラザで専門家を派遣して頂き、省エネ診断を受け、省エネを進めるうえでアドバイスを頂く (平成29年10月)
- \*梱包室内、蛍光灯をLED灯に更新 (平成30年11月に更新)
- \*工場内、蒸着10号機作業部分の水銀灯をLED灯に更新 (平成30年12月に更新)
- \*蒸着10号機、揚水ポンプを高効率(インバータ制御)へ更新(平成30年12月)
- \*スリッター-S20.21製品倉庫水銀灯をLED灯に更新 (平成30年12月に更新)
- \*スリッター-S20.21室内照明LED灯採用 (平成31年4月に更新)
- \*クーリングタワー旧設備と入替(冷却能力UP) (令和元年5月に更新)
- \*メタコート工場建屋内照明機器(蒸着工場・事務所・会議室・各検査室・測定室)調光付きLED灯へ更新(令和5年3月更新)
- \*生産効率改善による「省エネ」の取り組みの為、実生産時以外一部設備停止する (継続中)
- \*バッチ生産効率の改善(生産量UP、時間短縮)を進める (継続中)



## (第2面)

## 4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	工場内の照明を、徐々に高効率照明ランプ等へ更新する。(一部更新済み)	令和3年度～	更新完了
2	運用改善	生産効率改善による「省エネ」の取組みのため、実生産時以外一部設備停止の検討。生産効率の改善(生産量UP、時間短縮)を進める	継続運用中	継続中
3	設備導入	工場2階、検査室の空調設備を高効率機器へ更新する。	令和6年度着手予定	実施計画中
4	設備導入	蒸着装置冷却水の揚水ポンプを省エネタイプに更新する。	令和5年～	実施計画中
5	設備導入	真空蒸着装置7号機の冷凍機を高効率冷凍機に更新する。	令和5年～	実施計画中

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

## (3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記(1)の取組等により令和2年度を基準年度とし、以下の数値目標の達成を目指す。            新蒸着装置(10号機)の原単位「電気使用量(Kwh)/生産量(m<sup>2</sup>)で年0.1%の削減。            尚、原単位の考え方は次の通りです。            省エネ法に基づき、生産量(m<sup>2</sup>)を原単位の指標分母として設定する。</p>	<p>基準年度(2020年)に対し2021年度は生産量増加。設備トラブル等ありつつも原単位は削減。2022年度は更に生産性向上の取組みで電気の効率使用が進み、原単位削減目標を達成継続中。</p>

## (4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(2021)年度	(2022)年度	( )年度	( )年度	( )年度	
原油換算エネルギー使用量	KL	1,551	1,641	1,598			
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	2,109	2,376	1,910			
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	2,109	2,376	1,910			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>						
HFCs	t-CO <sub>2</sub>						
PFCs	t-CO <sub>2</sub>						
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					